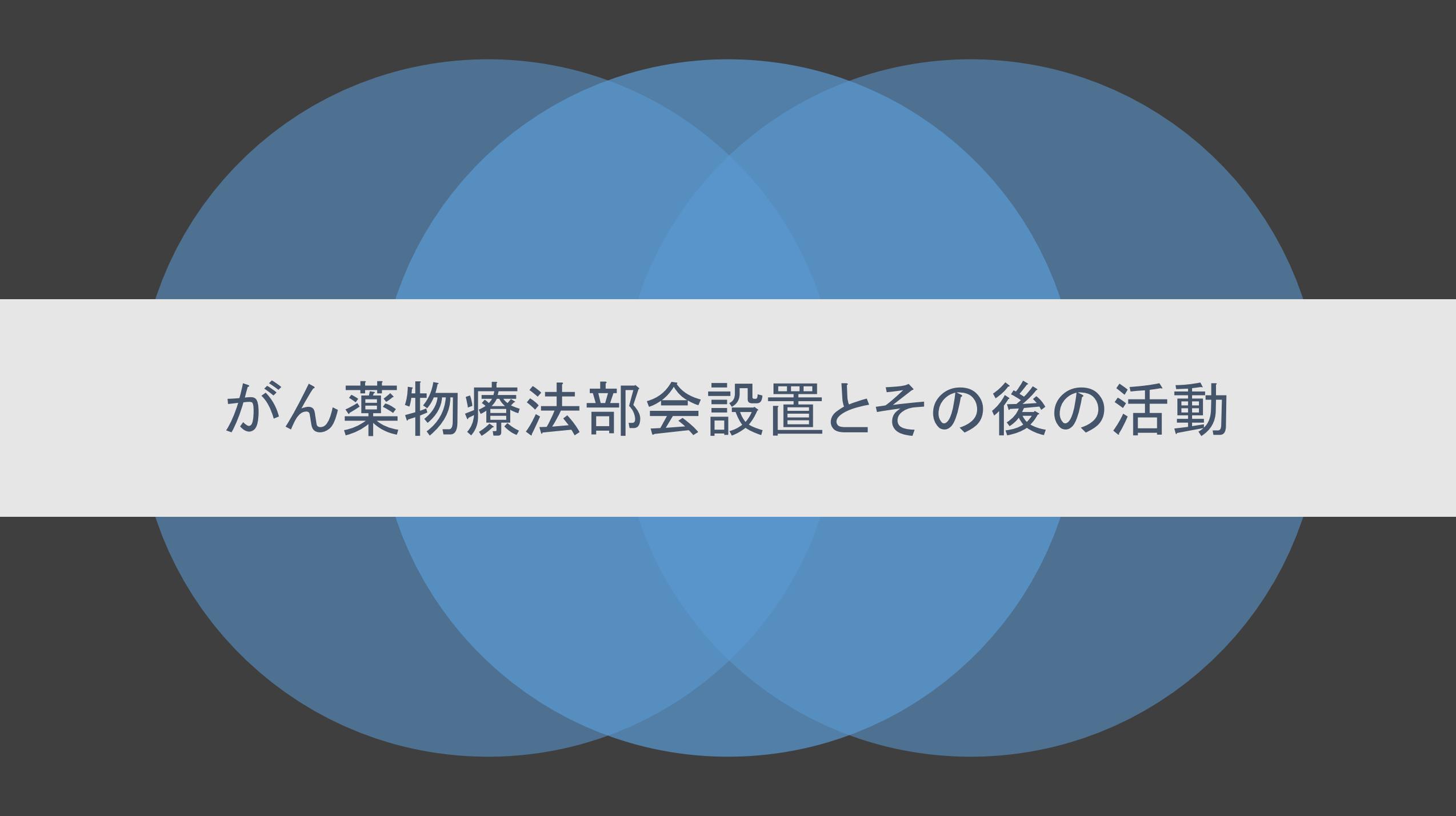


神奈川県を取り組み

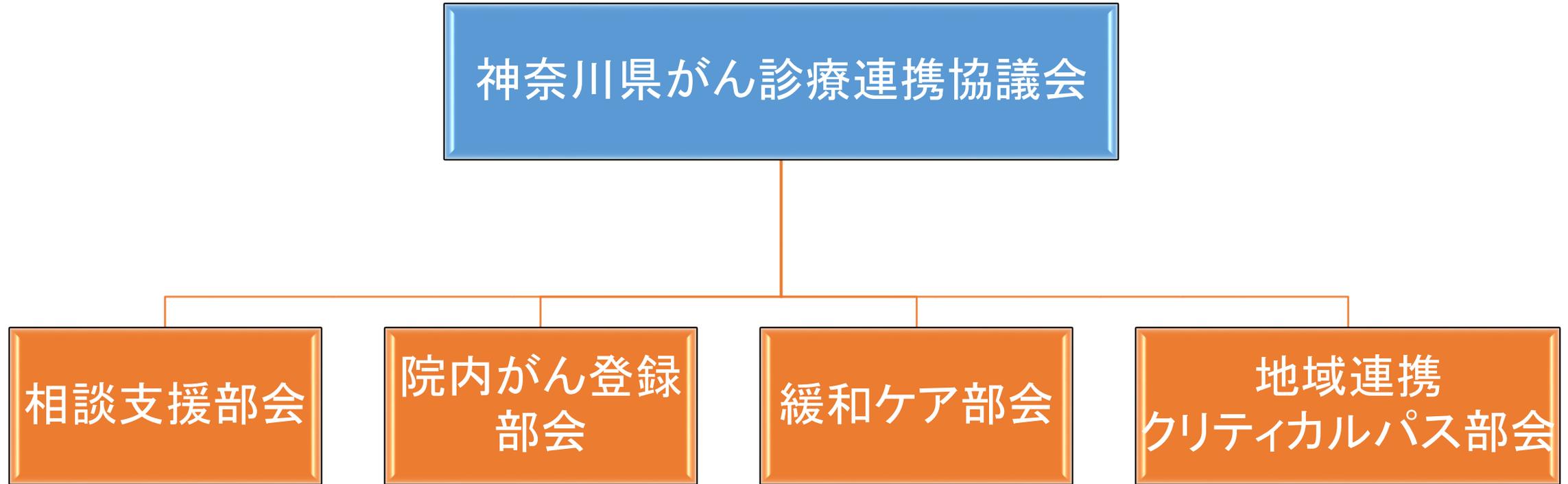
がん薬物療法部会ピアレビュー開催報告

神奈川県立がんセンター 腫瘍内科 部長
酒井リカ



がん薬物療法部会設置とその後の活動

平成28年度までの 神奈川県がん診療連携協議会 部会構成図



各部会ごとに、PDCAに対する取り組みを行っている

2017年

3/3

第18回 神奈川県がん診療連携協議会 において、協議会会長より正式に、『化学療法部会』設置が提案され、承認された。

- ・要綱(案)作成
 - ・構成員の選定
- ⇒ 第一段階として、医師の推薦を依頼。

9/6

第19回神奈川県がん診療連携協議会で、『化学療法部会』の設置報告

11/6

第1回 神奈川県がん診療連携協議会 化学療法部会開催

- ・ 39名参加(主に医師)
- ・ 構成員の自己紹介と各々の施設の現状・課題
- ・ 設置要綱の承認
- ・ 今後の活動の提案
 - ・ メーリングリスト作成
 - ・ 多職種構成員の推薦
 - ・ アンケート調査

構成員より、名称を『がん薬物療法部会』提案。全会一致で承認。

神奈川県がん診療連携協議会 化学療法部会 設置にあたって

神奈川県立がんセンター腫瘍内科

酒井 リカ

神奈川県の情報

都道府県内の総人口 915万人 (H29年1月1日現在)
がん死亡者数(%) 20,237人 (33.1%) (H27年12月現在)
高齢化率 24.5% (H29年1月1日現在)

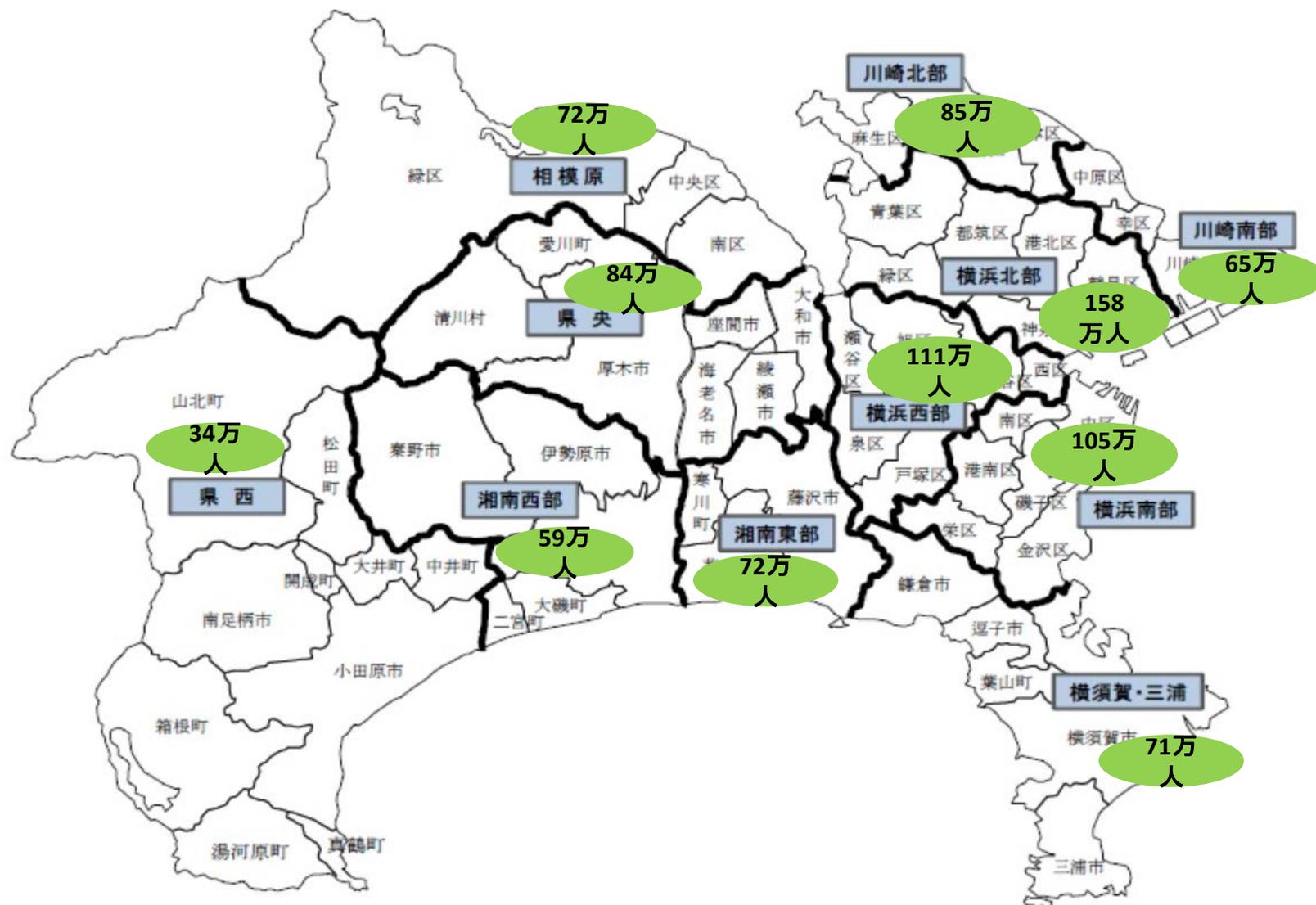
	総人口	年少人口 (0から14歳)	生産年齢人口 (15から64歳)	老年人口 (65歳以上)
全国	12682万人 (100.0%)	1574万人 (12.4%)	7639万人 (60.2%)	3470万人 (27.4%)
神奈川県	915万人 (100.0%)	113万人 (12.4%)	572万人 (63.1%)	222万人 (24.5%)

※全国の人口は、総務省統計局「人口推計月報（平成29年1月1日現在確定値）」によります。



前年から
4万8340人増加

二次医療圏別人口分布



がん薬物療法 神奈川県の実況と課題とは・・・

- 全国都道府県で第2位の人口を有し、高齢化率は増加。
県内総死亡におけるがん死亡割合は平成8年以降30%台で横這い。
→ 外来化学療法を中心とした、がん薬物療法の質の向上（服薬管理や副作用対策等）は継続した課題。
- 11の二次医療圏内に、がん診療連携拠点および指定病院が1～5施設配置されているが、人口密度、人口構成年齢分布は医療圏により、その特徴が異なる。
→ 医療圏ごとに異なった、がん医療の特性、ニーズ。
→ 各施設のがん薬物療法の状況について、情報共有と整理が必要

今後のロードマップ

がん薬物療法にかかわる 多
職種からなる連絡網の整備
→ **メーリングリスト作成**

各施設における化学療法部
門の現状と課題の共有
→ **アンケート調査の
実施**

化学療法部会が取り組む
課題の抽出
→抽出された課題に向けて、
チーム医療研修会等の企画

2017年

11/6

平成29年度第1回 神奈川県がん診療連携協議会 がん薬物療法部会

11/8

- ① 各施設あてに、医師以外の構成員(看護師、薬剤師、MSW等)の推薦を依頼
- ② アンケート用紙配信

2018年

1/4

アンケート集計 ⇨ **解析**

レジメン管理体制、外来化学療法部門体制、化学療法件数等 + 自由記載(今後の活動に関する)

2/27

メーリングリスト 作成 (参加94名) ⇨ **作動性テスト**

3/5

第20回 神奈川県がん診療連携協議会 がん薬物療法部会 活動報告

⇨ アンケート集計結果報告

4/9

都道府県指導者養成研修(がん化学療法研修企画)フォローアップ研修

⇨ **ピアレビュー 開催を計画**

4/23

平成30年度第1回 神奈川県がん診療連携協議会 がん薬物療法部会

⇨ **アンケート結果報告・ピアレビュー 提案**

第20回 神奈川県がん診療連携協議会

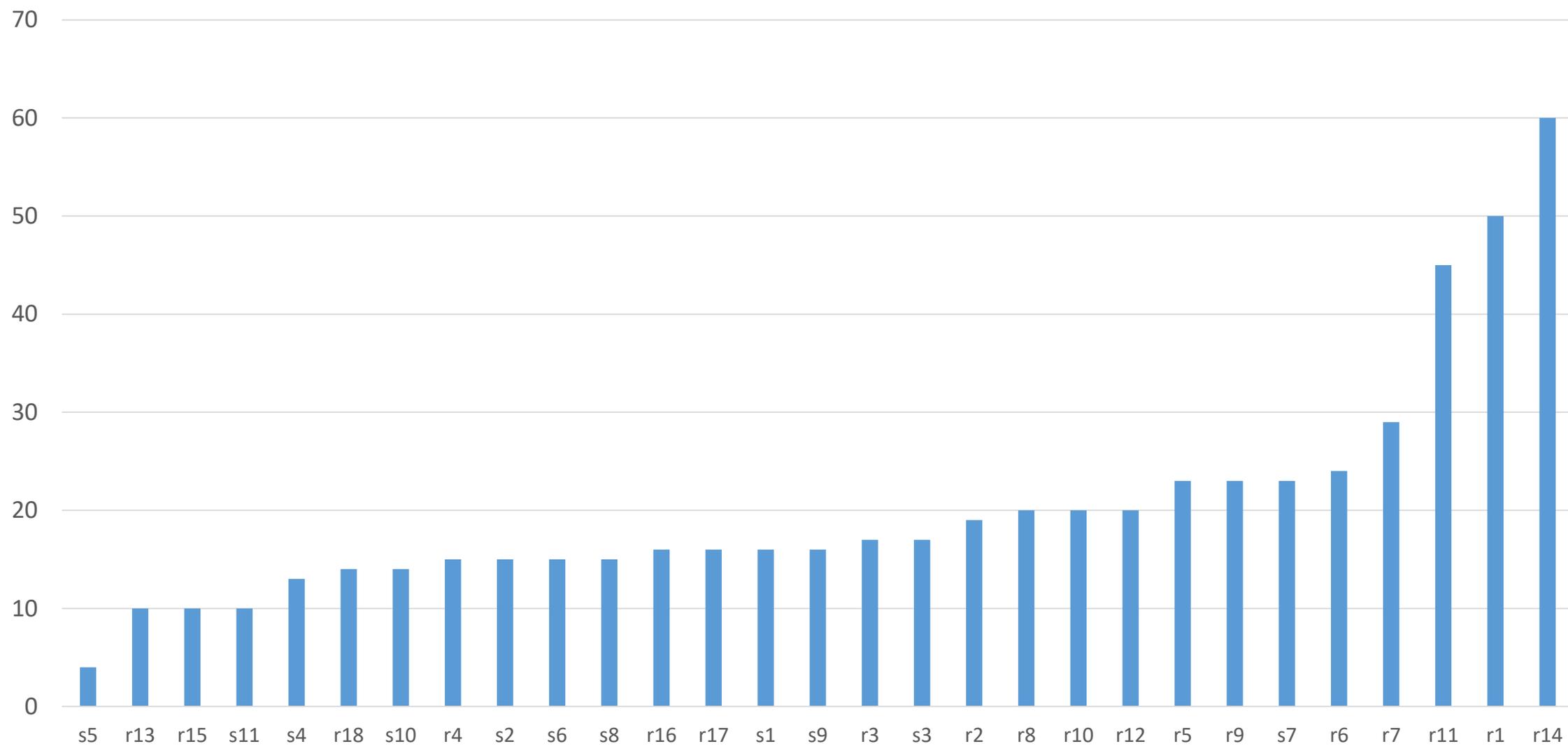
がん薬物療法部会

アンケート集計結果

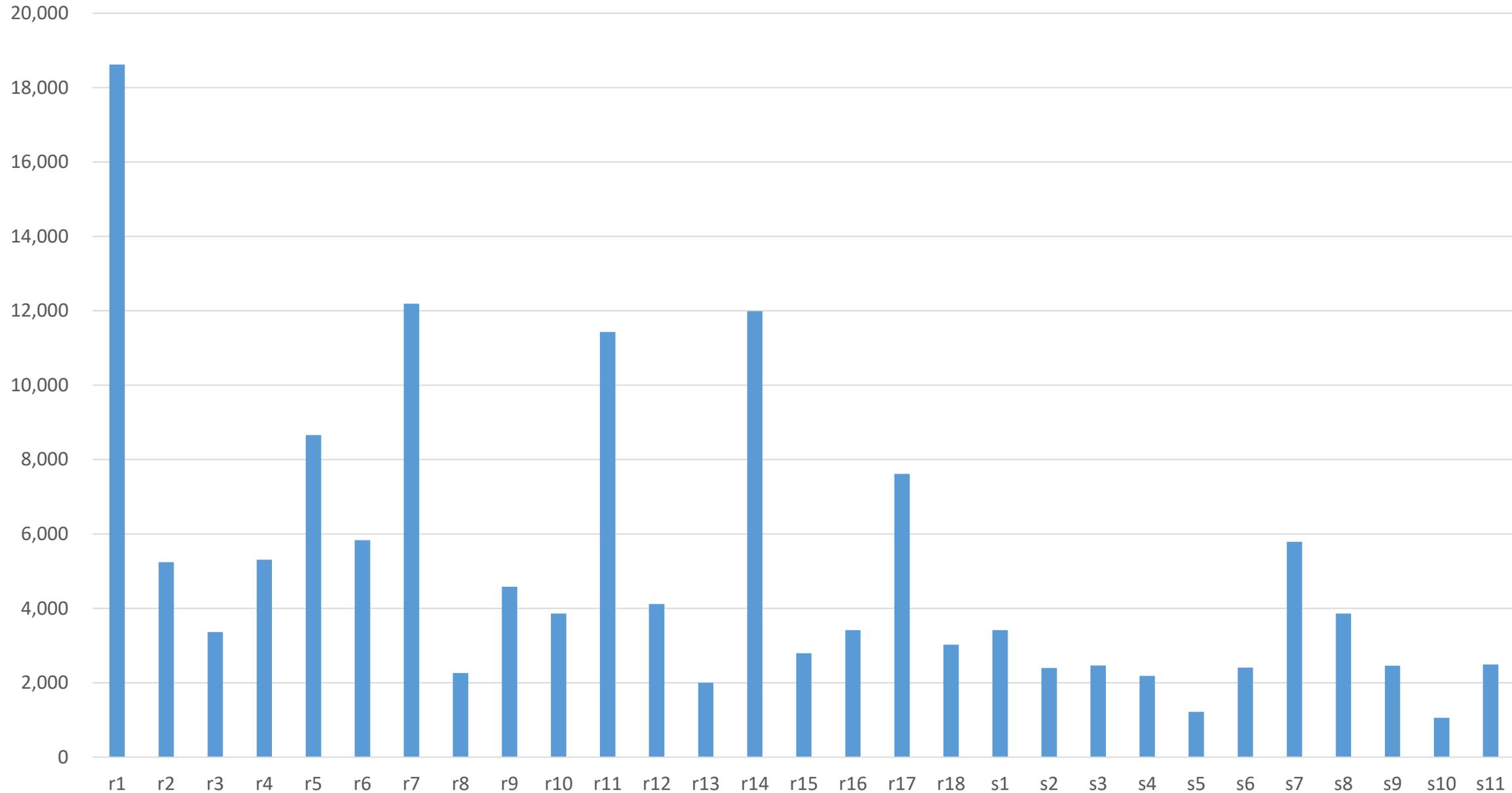
神奈川県立がんセンター 腫瘍内科

酒井 リカ

外来化学療法室病床数



2016年度外来化学療法の本件数



その他自由記載

• IrAE診療体制の整備	2
• 薬薬連携	1
• 拠点・指定病院以外の施設への啓発	1
• 経口抗がん剤の患者指導	3
• 資格取得に対する県からのサポート(経済的)	1
• 就労支援制度の院内外への告知	1
• マンパワー不足	5
• 治療室の環境整備	1
• 暴露対策費用と加算額の乖離	1
• 災害時ネットワーク構築	1
• 相互チェック(PDCA)	1
• 院内の知識の均てん化・システムの構築が課題	8
• 肝炎ウイルス対策勸奨システム	1
• がん薬物療法にかかわる病診連携	1
• 参加全病院レベルでの統一は困難。専門分野ごとの情報共有を。	1

神奈川県がん診療連携拠協議会 がん薬物療法部会 今後の活動

神奈川県がん診療連携拠協議会
がん薬物療法部会 部会長

神奈川県立がんセンター 腫瘍内科 酒井リカ

神奈川県がん診療連携拠点協議会 がん薬物療法部会 相互訪問ピアレビューの利点と課題

<利点>

- 各施設にがん薬物療法専門医、化学療法認定看護師、がん専門看護師、がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師、外来がん治療認定薬剤師等、がん薬物療法にかかわる専門資格を有する人員が揃っており、ピアレビューの質を担保する体制づくりの環境には比較的恵まれている。
- 神奈川県がん診療連携協議会緩和ケア部門では、ピアレビューが既に行われており、ノウハウをえられやすい。

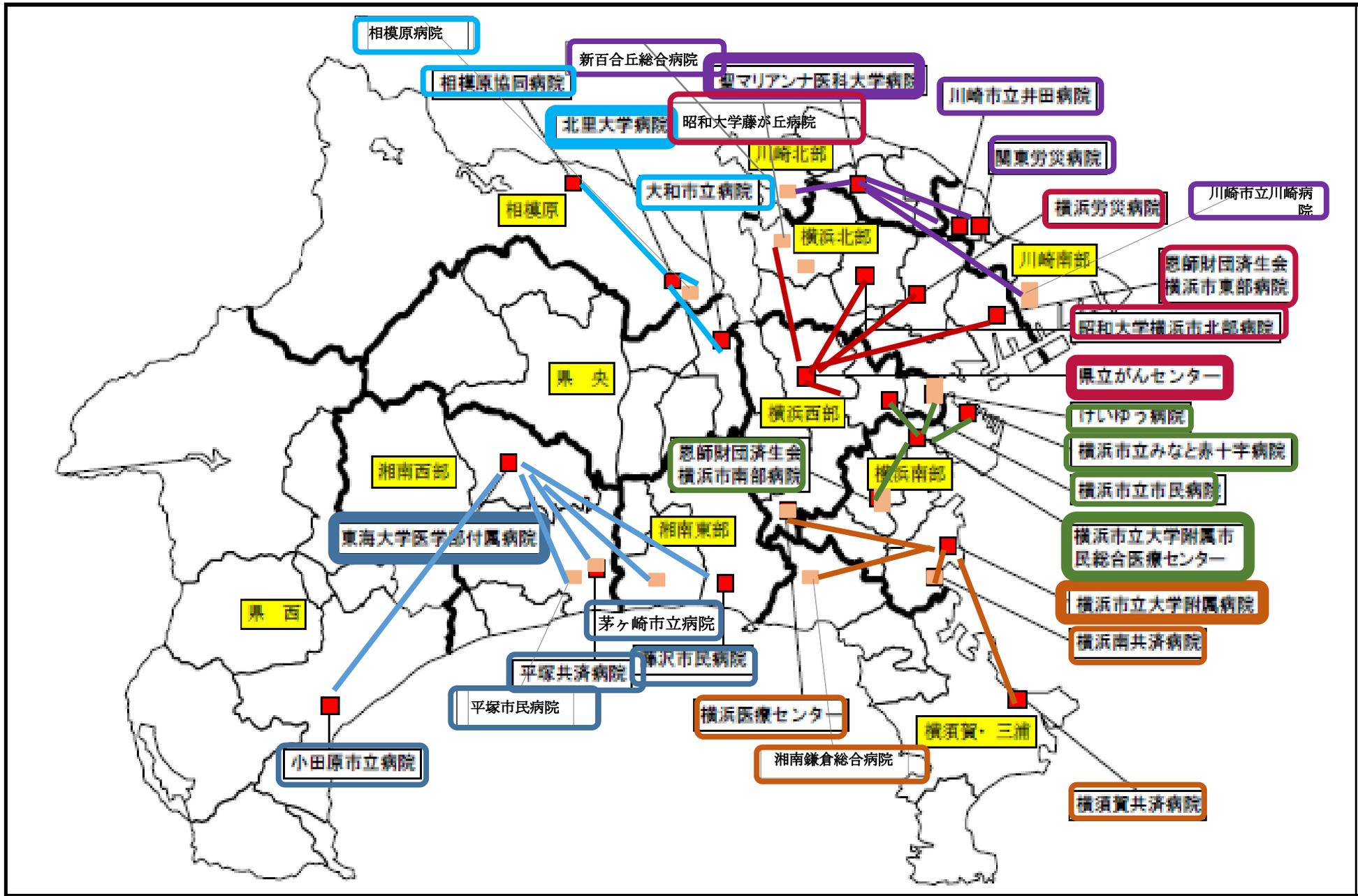
<課題>

- 県内に30の拠点および指定施設があり、実地調査方法には工夫が必要。

実施方法の提案

- ・県内をいくつかのグループに分け、グループリーダー施設を選定。
- ・グループリーダー施設は、アンケート調査結果の2016年度外来化学療法
のべ件数に基づき、年間6,000件以上施行した6施設を選定。
- ・グループリーダー施設との地理的関係を考慮し、各グループの構成施設を
決定。
- ・ピアレビューは最初にグループリーダーに選定された6施設間で行う。
- ・グループリーダー施設間ピアレビュー終了後、グループリーダー施設は、
自グループ内施設のピアレビューを実施する。

	グループリーダー	診療連携拠点病院	診療連携指定病院
groupA	神奈川県立がんセンター (r1)	横浜労災病院 (r2)	昭和大学藤が丘病院 (s8)
		昭和大学横浜市北部病院 (r3)	
		済生会横浜市東部病院 (r16)	
groupB	横浜市立大学附属病院 (r5)	横須賀共済病院 (r9)	横浜南共済病院 (s1)
			湘南鎌倉総合病院 (s7)
			横浜医療センター (s4)
groupC	聖マリアンナ医科大学病院 (r7)	川崎市立井田病院 (r8)	川崎市立川崎病院 (s11)
		関東労災病院 (r18)	新百合ヶ丘総合病院 (s9)
groupD	東海大学医学部附属病院 (r11)	藤沢市民病院 (r10)	平塚共済病院 (s2)
		小田原市立病院 (r15)	平塚市民病院 (s6)
			茅ヶ崎市立病院
groupE	北里大学病院 (r14)	相模原協同病院 (r13)	国立病院機構相模原病院 (s10)
		大和市立病院 (r12)	
groupF	横浜市立大学附属市民総合医療センター (r17)	横浜市立みなと赤十字病院 (r6)	けいゆう病院 (s3)
		横浜市立市民病院 (r4)	済生会横浜市南部病院 (s5)



ピアレビューを開始するまでのステップ

- ① ピアレビューを実施する前段階として、**レビューアー養成研修**を開催する
- ② 研修会では、プログラム策定にむけて、意見交換等を行う
- ③ スケジュール調整を含め実際に検討する

- 日程調整
- グループリーダー施設への事前アンケート（ピアレビューのテーマ）

ピアレビュー研修

グループリーダー6施設含む11施設 計34名が参加
約2時間で以下の内容の研修を行った

講義

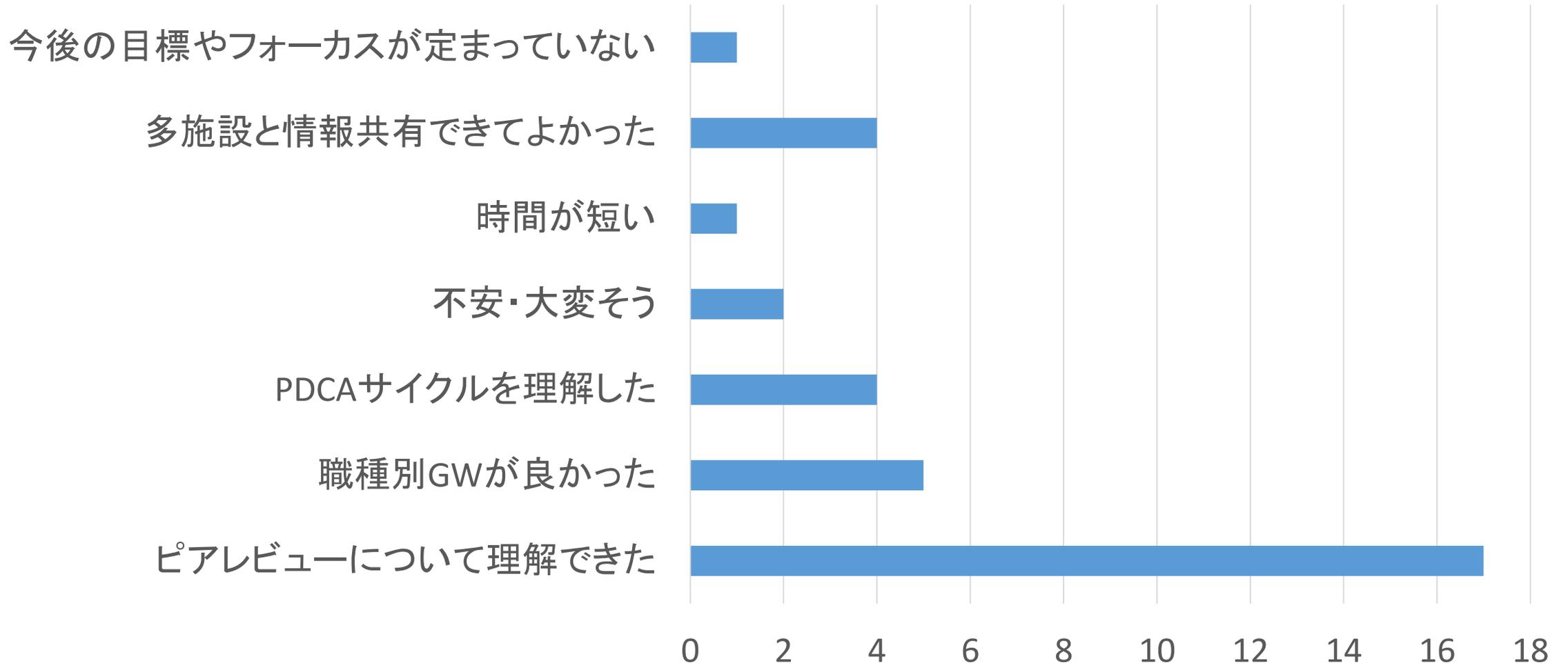
- 神奈川県がん診療連携協議会緩和ケア部会における取り組みについて、『ピアレビュー導入の概要』
- がん対策に関する今後の取り組みについて『がん対策とこれから求められるPDCAサイクルの確保』
- 都道府県レベルで取り組むがん診療の質の向上に向けた取り組み－実地訪問によるピアレビューを中心に－

討議

ピアレビューに係わる討議

- 事前アンケートより抽出したテーマの一覧
- がん薬物療法部会のピアレビューマニュアル(案)配布
- 各職種(医師、看護師、薬剤師)に分かれて、ピアレビューテーマの話し合い

事後アンケート



2018年

8~9
月

- 日程調整
 グループリーダー施設
 病院管理職(病院長、看護局長等)
 国立がん研究センター がん対策情報センター
- テーマの選定
- 院内スタッフ間の打ち合わせ

10/30

・事前配布資料 送付

11/6

第1回 ピアレビュー



神奈川県がん診療連携協議会がん薬物療法部会
第1回ピアレビュー



神奈川県がん診療連携協議会がん薬物療法部会 第1回ピアレビュー 概要

- 開催日時:平成30年11月6日 13時～16時
- 開催場所:神奈川県立がんセンター 管理研究棟5階 大会議室・中会議室
- 受け手施設:神奈川県立がんセンター
- レビューア一施設:横浜市立大学附属・聖マリアンナ医科大学・東海大学病院・
北里大学病院・横浜市立大学附属市民総合医療センター
- オブサーバー参加: 国立がん研究センター がん対策情報センター
神奈川県立がんセンター 管理者(病院長、副院長、薬剤科長)

参加人数: 33名

神奈川県がん診療連携協議会 がん薬物療法部会ピアレビュー テーマ

<テーマ>

・共通テーマ:レジメン管理

・個別テーマ:受け手施設が1～2テーマ提示

<第1回 ピアレビューの目標>

01

困りごとの具体的な解決策をともに考え、より良い医療を提供できるようにするための支援的なレビューをめざす。

02

今回えられたピアレビューにかかわる課題を参加施設で共有し、第2回目以降のピアレビューに反映させる。

エリアグループリーダー施設



- 施設より、医師、薬剤師、看護師が複数名参加
- 共通テーマ、個別テーマに関し、施設毎に検討
- 各施設より1名レビュアーを選出

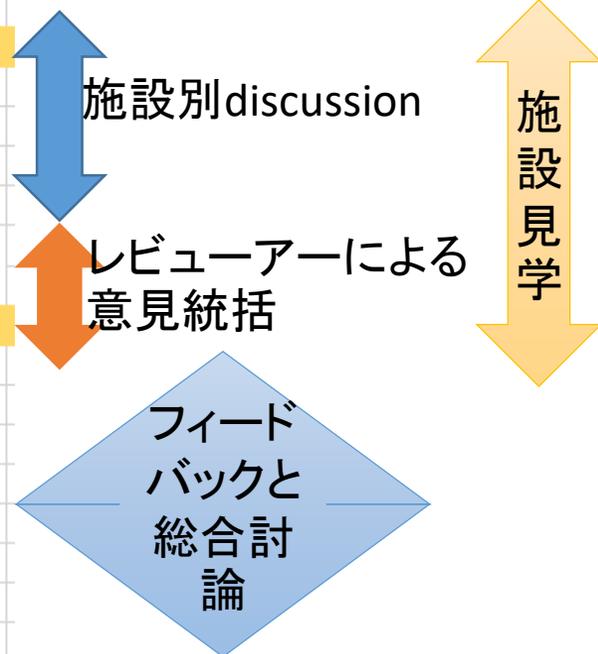
調査員

各施設から選出された、医師1名、看護師2名、薬剤師2名のレビュアーが、施設の意見をもちよ
り、最終とりまとめと発表

実施対象施設

Group A
神奈川
がんC

	time schedule	
導入	13:00	施設長挨拶 参加施設別参加者・レビューアーの選定 スケジュール概要とレビュー方法の共有
	13:10	
	13:15	神奈川県立がんセンター 施設概要。がん薬物療法提供体制の紹介
	13:23	
施設紹介		神奈川県立がんセンター 施設概要。がん薬物療法提供体制の紹介
共通テーマ	13:15	当院におけるレジメン管理の実際と困りごと
	13:23	質疑応答（全体）
	13:35	
個別テーマ①	13:43	経口抗がん剤鑑査について、実情と困りごと
	13:55	質疑応答（全体）
	14:05	
個別テーマ②	14:05	外来化学療法を受ける患者への部門横断的支援、現状と課題
	14:20	質疑応答（全体）
	14:20	
休憩（適宜）		
施設毎の discussion / 外来エリア見		各施設に分かれ、施設毎にテーマに対し、問題・課題・良い取り組み等を抽出。 外来化学療法室・外来エリア見学：最初にレビューアー5名のみ施設見学。他の方はdiscussion 開始
	15:00	
レビューアーのフィードバック	15:15	レビューアー5名が各施設の意見をとりまとめ。この間に他の皆さまは施設見学 前半 グループB+F(8名)、後半 グループC+D+E(6名)
		休憩（適宜）
	15:20	レビューアーからのフィードバック、意見交換
総合討論	15:40	ピアレビュー振り返り・今後のピアレビューの流れについて（質疑応答）
	15:55	
閉会	16:05	総括 閉会の挨拶 事務連絡等



個別テーマ② プレゼンテーション





レビューアールとリまとめ風景

今後の行動目標

<平成30年度の行動目標 案>

- ・グループリーダーの2施設がペアを組み、相互訪問を行う。
- ・事務局は必要に応じ、事務的な支援を行う。
- ・神奈川県がん診療連携拠点病院に所属する構成員は、可能な限りオブザーバーとして参加し支援する。
- ・ピアレビューの概要は、神奈川県がん診療連携協議会において報告する。
- ・ピアレビューの詳細はがん薬物療法部会において報告し、全施設で共有する。

<平成31年度以降の行動目標 案>

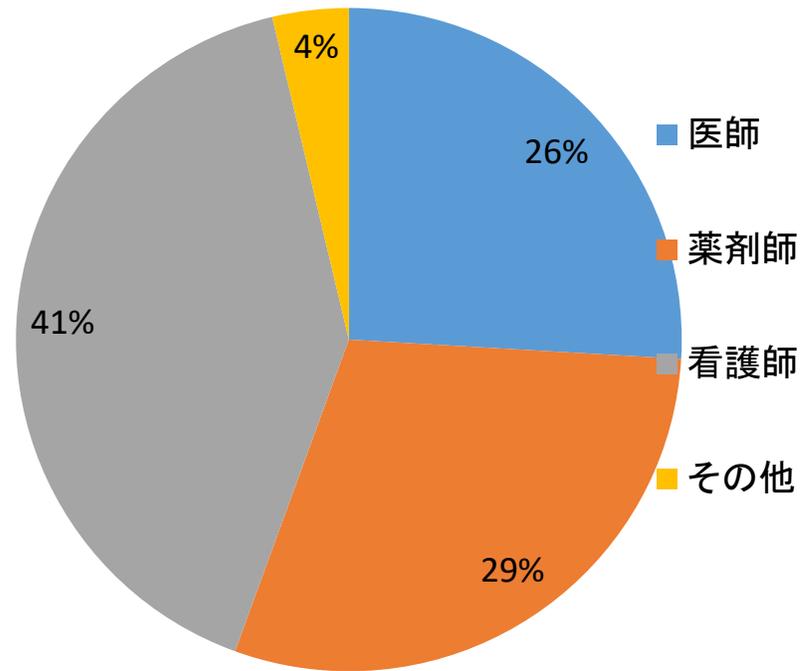
- ・グループリーダー施設はグループ内のピアレビューを立案・計画し、実施する。
- ・事務局は必要に応じ事務的な支援を行う。
- ・ピアレビューの概要は神奈川県がん診療連携協議会において報告する。
- ・ピアレビューの詳細はがん薬物療法部会において報告し、全施設で共有する。

総合討論での意見

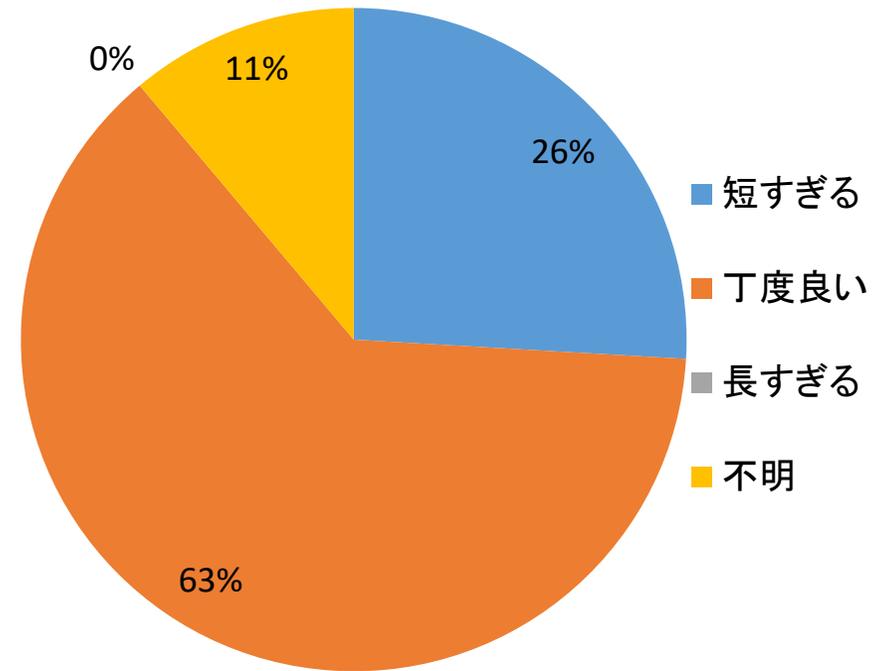
- 県協議会として、病院に依頼することが必要。
- 他県では、大学病院では協力が得にくい事例がある。
- ピアレビュー時に受け手施設の管理者に出席してもらうには、県レベルから、正式な依頼があったほうが良い。
- 参加してよかった。
- 今後、自施設でピアレビューをやっていききたい。
- できれば、開催に関し、県レベルでの依頼文章があると、病院からの理解・協力がえられやすい。
- リーダ施設間のレビュー終了後、各エリアでピアレビューを行う際には、同様の手法がとれるのか、検討が必要である。

事後アンケート結果(抜粋)

1. 職種



3-⑮ 時間



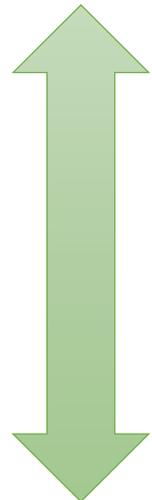


今後の活動について

2018年

11/8

議事録送付



グループリーダー施設内で、
管理者へのピアレビュー報告

11/30

事後アンケート集計結果送付

12/4

神奈川県がん診療連携協議会より、グループリーダー施設 施設長宛
て、自施設でのピアレビュー開催協力の依頼状郵送

グループリーダーペア施設間で、ピアレビュー日程調整開始

2019年

グループリーダー施設間ピアレビュー 開催へ!!



ご清聴ありがとうございました